

大切な人に伝えてみませんか？

見本

「もしも」のときの医療・ケアについて伝えるカード 付き

もしも...

寝たきりになったら

これ以上、
病気の治療が
難しいといわれたら

認知症などで、
自分の意思が
伝えられなくなったら



人である限り、私たちはいつか人生の最期を迎えることになります。自分らしい人生をまっとうするためには、自分がどのような医療やケアを受けたいのか、どんな価値観を持っているのかを日ごろから考え、家族など大切な人と共有しておけば安心です。

あなたの「思い」が、「もしも」のときの家族の支えになります。

あなたの希望について、

「いまの気持ち」を
書き記してみましょう。

気持ちが変わったときは
何度でも書き直しましょう。



切り取り線

山折り

山折り

わたしの希望、大切にしていること、不安な気持ち

自由に書いてみましょう

連絡先

地域包括支援センター

担当者 ☎

家族・身近な人

名前 ☎

名前 ☎

かかりつけ医など

名前 ☎

もしも のときの医療・ケア について伝えるカード



年 [名前]
月 日